



主要施策：総務生活委員会所管

災害に強く安全安心に暮らせるまちづくりの推進

項目	予算金額
広域消防運営事業	16億1,949万円
空き家対策推進事業	509万円

福祉・医療の充実と元気づくりの推進

項目	予算金額
三世代同居等支援事業	1,200万円
国民体育大会 運営準備事業	8,600万円

都市基盤の整備と住みやすいまちづくりの推進

項目	予算金額
旧生涯学習センター・ 青少年センター解体事業	9,700万円
茨城港常陸那珂港区建設事業	5億130万円
コンテナ貨物集荷促進事業	560万円
公共交通事業	9,828万円
湊線支援事業	4,593万円
湊線延伸支援事業	500万円

自立と協働のまちづくりと行財政改革の推進

項目	予算金額
コミュニティ施設 地域運営事業	1億6,728万円
行財政改革への取り組み	▲1億1,136万円
那珂湊支所新庁舎建設事業	1億5,000万円
旧県立那珂湊第二高等学校 跡地利活用	6,130万円
「高校生による 地域活性化プロジェクト」事業	3,153万円



1. 空き家対策推進事業

平成28年4月「**ひたちなか市空き家等対策の推進に関する条例**」施行されるとともに空き家等対策推進室を設置し、危険性の高い空き家等に対する助言や指導などを行い、空き家等の対策を進めております。

年度(平成)		25	26	27	28	29 ※1	合計
相談件数		44	38	131	169	196	
空き家数			353	431	458	470	
指導及び 是正・解決数	助言・指導				131	142	273
	是正				46	26	72
	解決 ※2				15	34	49
管理不全空家	認定				16	7	23
	助言・指導				14	17	31
	是正				0	7	7
	解決 ※2				1	5	6
特定空家等	認定				1	1	2
	指導				1	0	1
	解決 ※2				1	1	2 ※3

※1:平成29年度は2月末現在

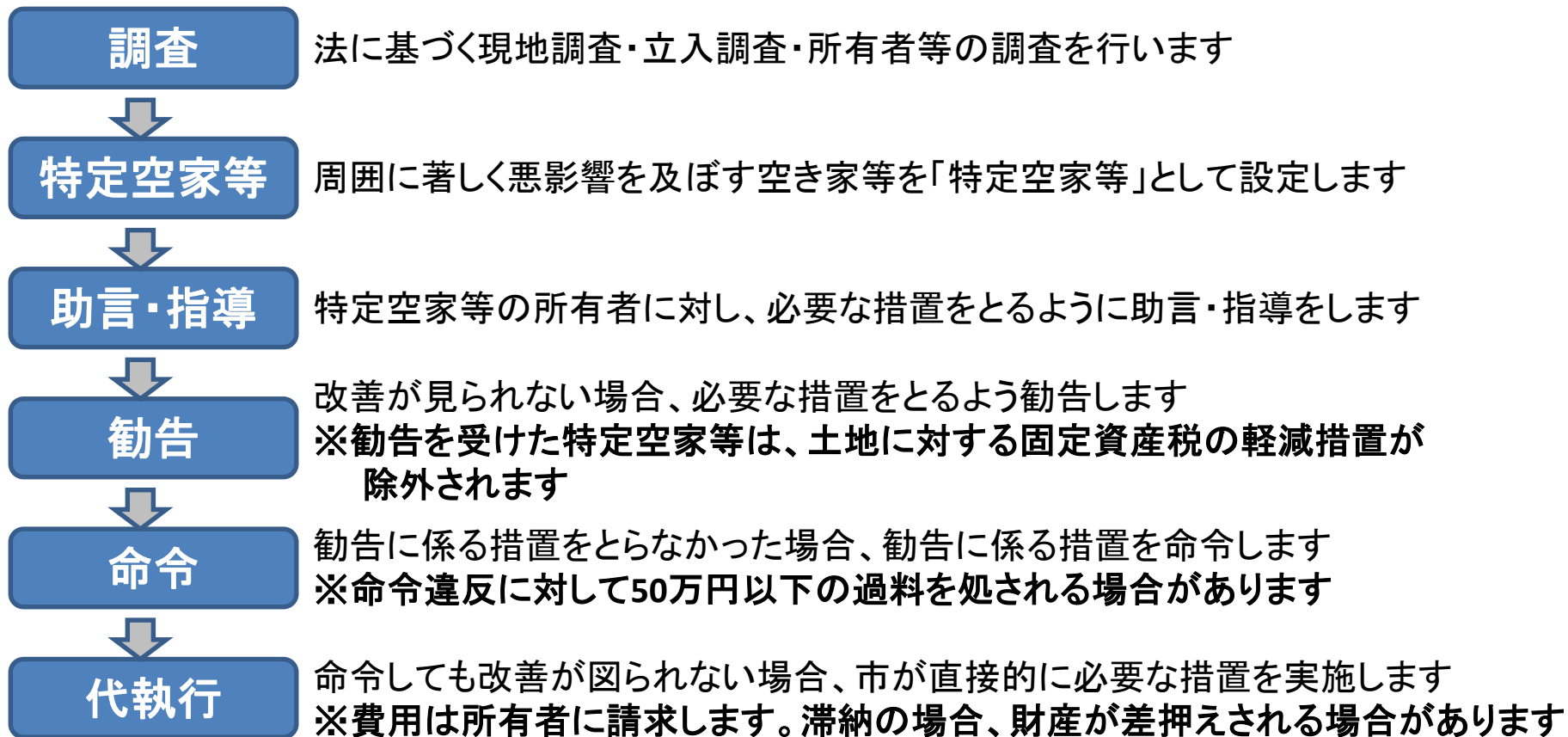
※2:解決とは、解体・改築・居住等で空き家ではなくなった状態のこと

※3:1件は所有者自らが解体、1件は市が略式代執行(解体)を実施



空家等対策の推進に関する特別措置法とは？

市の役割が明確化され、空き家等に対する調査や、行政措置などの権限が付与されました。行政措置の概要は、以下の通りとなります。





市内湊泉町において倒壊の恐れがあった火災全焼家屋 1 件について、今年 1 月に県内 2 番目となる略式代執行による除却を実施したところです。



略式代執行





2. 公共交通事業

本市においては、常磐線や湊線の鉄道路線が基本的な公共交通として勝田駅・佐和駅・那珂湊駅の3つの市街地を通して縦横に走り、路線バスが駅や団地などの主要地を結び、「スマイルあおぞらバス」が、駅や公共施設、病院、店舗等と住宅地などをつないで市内全域を細かく循環しております。

スマイルあおぞらバスとは

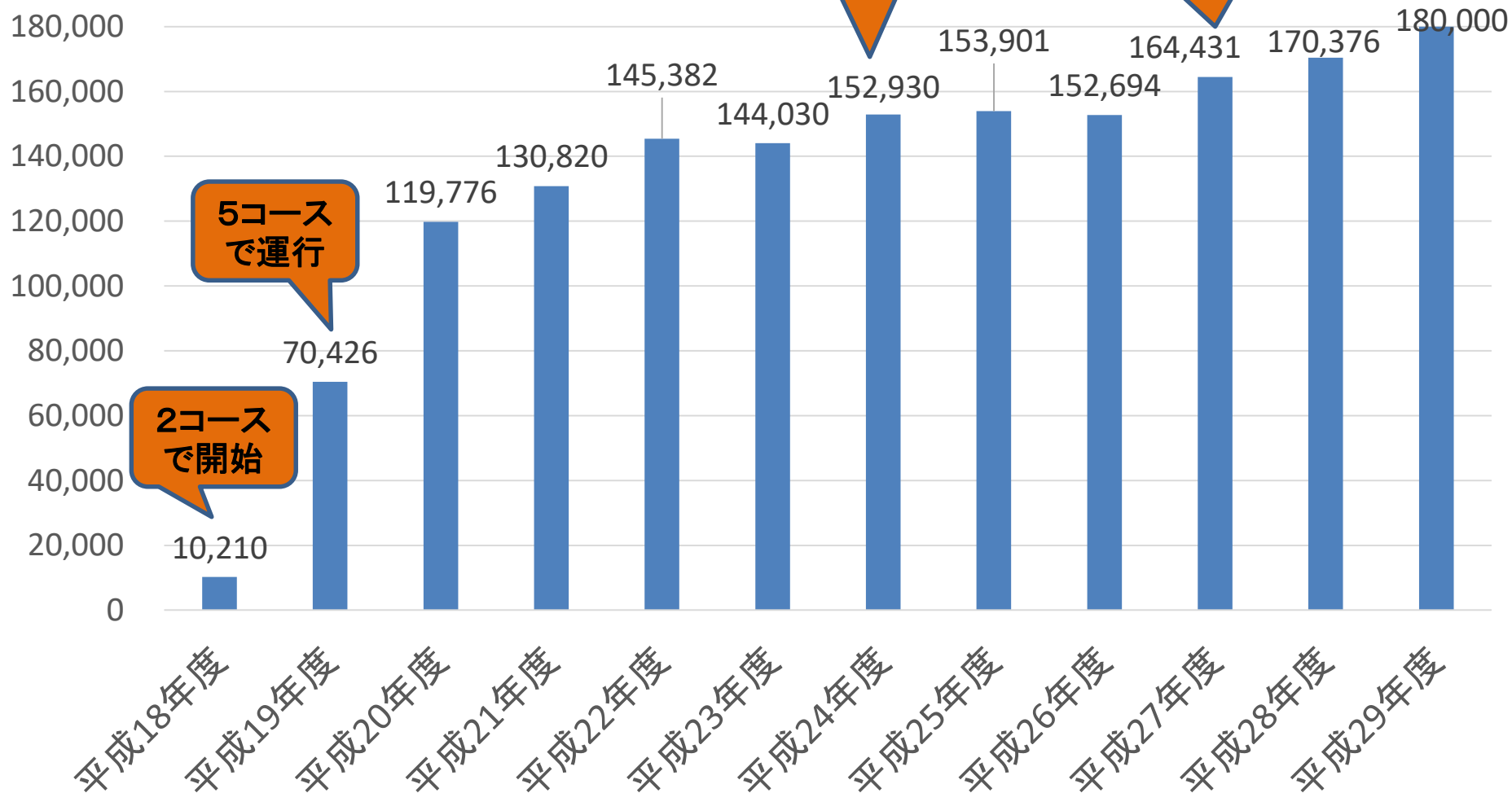
- ・交通弱者の生活の足を確保するため、市内の各地域を循環するなど平成18年10月に勝田西・那珂湊コースの2路線で開始
- ・今ではこの2コースの他に勝田北・勝田中央・勝田南・佐和・田彦金上コースの全7路線でルートやダイヤの改善をしながら運行
- ・平成29年度の年間利用者数が18万人を超え過去最多となる見込み





2. 公共交通事業

年間利用者数の推移



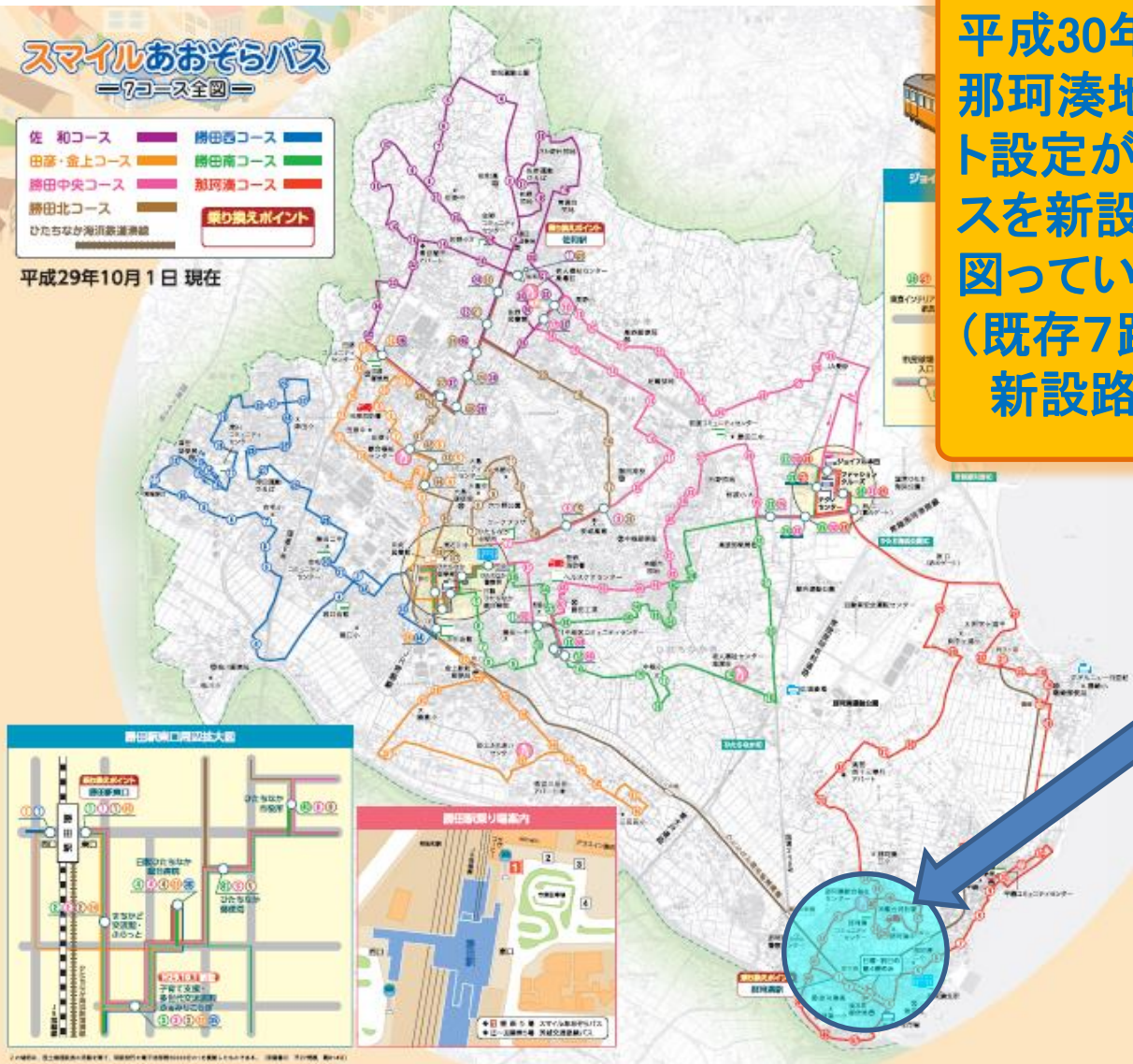


2. 公共交通事業

スマイルあおぞらバス ＝7コース全圖＝

- 佐和コース
- 田彦・金上コース
- 勝田中央コース
- 勝田北コース
- 勝田西コース
- 勝田南コース
- 那珂湊コース
- 乗り換えポイント

平成29年10月1日 現在



平成30年度は高齢化が進んでいる那珂湊地区においてきめ細かなルート設定が可能なワゴン車によるコースを新設し、さらなる利便性の向上を図っていきます。
(既存7路線:約9,000万円、
新設路線:約800万円)

今回追加を
計画している地域





2. 公共交通事業

今回導入のワゴン車



- 車定員9名(車椅子乗車時は7人)
- 車椅子乗車可能
- 運行コース
 - ・佐和コース
 - ・田彦・金上コース

那珂湊地区の新設コース
平成30年秋 運行開始予定

今後は、引き続き住民ニーズに対応しながら、効率的なルートや運行時間の短縮並びに運行本数の増加などダイヤを設定し、停留所の位置も含めて、交通不便地域の解消を目指していきます。